
第 25 回
日本家族社会学会大会
プログラム

2015 年 9 月 5 日（土）・6 日（日）

開催校・会場：追手門学院大学

大会日程

会場：追手門学院大学

▼第1日 2015年9月5日（土）

09：15～	受付開始	5号館 3階ホール
10：00～ 12：00	自由報告(1) ① 「家族」とは何か ② 家族・情緒・性 ③ 国際的移動への適応と家族 国際セッション：Work-Family Balance of Families with Small Children: How to Achieve Gender Equality in Parenting	5302 5303 5304 5301
12：00～ 13：30	昼休み *かっこ内は各委員会の会場です。 編集委員会 (2号館 2110) 研究活動委員会 (5号館 8F 大会議室 B) NFRJ 委員会 (2号館 2109) 庶務委員会 (5号館 8F 大会議室 A)	
13：30～ 16：00	自由報告(2) ④ 現代の結婚 ⑤ 家族と社会政策 テーマセッション(1)企画全体提案型：NFRJ18に向けて	5302 5303 5301
16：15～ 16：40	会長講演	5201
16：50～ 17：50	総会	5201
18：10～ 19：40	懇親会	食堂棟2F LIBRE

▼第2日 2015年9月6日（日）

08：45～	受付開始	5号館 3階ホール
09：15～ 10：45	自由報告(3) ⑥ 家族意識 ⑦ 育児とストレス ⑧ ひとり親家族とステップファミリー	5302 5303 5304
11：00～ 13：00	自由報告(4) ⑨ ライフコースと親子関係 ⑩ 出産と育児 ⑪ 家族・親族システムの地域性 テーマセッション(2)報告者公募型：Contemporary Family Research	5302 5303 5304 5301
13：00～ 14：00	昼休み *かっこ内は各委員会の会場です。 編集委員会 (2号館 2110) 研究活動委員会 (5号館 8F 大会議室 B) NFRJ 委員会 (2号館 2109) 庶務委員会 (5号館 8F 大会議室 A) シンポジウム打ち合わせ (2号館 2108)	
14：00～ 16：45	大会シンポジウム 人口減少社会における家族と地域のゆくえ	5201

大会プログラム

第1日 9月5日(土)

受付開始(5号館3階ホール)

9:15～

午前の部

10:00～12:00

自由報告(1)

①「家族」とは何か(5302)

- ①-1 ベイビー・コットン事件にみる英国の親子観
- ①-2 提供配偶子を用いる生殖補助医療の法制度化をめぐる課題
- ①-3 看取りにおける「家族」とは何か
—介護職・看護職の語りから—

- ①-4 自死遺児にとっての「家族」とは

司会 松木洋人(大阪市立大学)

佐野俊幸

南 貴子(愛媛県立医療技術大学)

平山 亮(東京都健康長寿医療センター研究所,
日本学術振興会)

涌井智子(東京都健康長寿医療センター研究所)

島田千穂(東京都健康長寿医療センター研究所)

原沢優子(愛知県立大学)

水津嘉克(東京学芸大学)

②家族・情緒・性(5303)

- ②-1 近代日本における家族観の対立と情緒の位置
- ②-2 戦後の「純潔教育」施策にみる家族
- ②-3 青少年の性行動と家庭背景
- ②-4 未婚者の恋愛離れはなぜ、おきているのか—量的
データにもとづく恋愛しない理由の分析—

司会 赤川 学(東京大学)

本多真隆(慶應義塾大学・院)

柳園順子(近大姫路大学)

林 雄亮(武蔵大学)

開内文乃(成蹊大学)

③国際的移動への適応と家族(5304)

- ③-1 中国帰国者一世と二世の社会移動パターン
—九州地区在住者の事例—
- ③-2 女性脱北者における結婚と生存戦略
- ③-3 国際結婚と国籍の維持—インドネシア・バリ島で
国際結婚した日本人女性の事例から—

司会 嘉本伊都子(京都女子大学)

張 龍龍(早稲田大学・院)

尹 鈺喜(同志社大学)

ニ・ヌンガー・スアルティニ(東北大学・院)

国際セッション

Work-Family Balance of Families with Small Children : How to Achieve Gender Equality in Parenting (5301)

Organizer Mieko Takahashi (Osaka University)

Chair Tomoko Matsuda (Bukkyo University)

Overview of Work-Family Balance of Families in Germany,
the Netherlands and Sweden :
What We Can See from Cross-national Data and Reports

Saori Kamano (National Institute of Population and
Social Security Research)

Mieko Takahashi (Osaka University)

Tomoko Matsuda (Bukkyo University)

Setsuko Onode (Kyoto Kacho University)

Kyoko Yoshizumi (Otemon Gakuin University)

Eberhard Schaefer (Berlin Fathers' Centre)

Supporting Fathers : An Issue for Gender Equality, Work-life
and Child Wellbeing Policies :
A Practice Oriented Story from Germany on the
Changing Role of the Father

Capabilities to Combine Work and Family Life in the Netherlands :
Moving Beyond the One-and-a-half Earner Family?

Laura den Dulk (Erasmus University, Rotterdam/
Bielefeld University)

Fathers and Worklife Balance : If and When Policies Matter :
Looking Beneath, Within and Beyond the State

Barbara Hobson (Stockholm University)

Discussant Futoshi Taga (Kansai University)

打ち合わせ会場(2号館 2108)

昼食・委員会

12:00～13:30

午後の部

13:30～16:00

自由報告 (2)

④現代の結婚 (5302)

- ④-1 未婚者の交際カップルが初婚に至る確率を算出する
—試み—出生動向基本調査を用いて—
- ④-2 職場のワーク・ライフ・バランスと結婚意欲
—結婚の魅力の低下か、先送りか?—
- ④-3 恋愛結婚における〈道具的結婚〉と〈情緒的結婚〉
の関係—首都圏にくらす未婚女性へのインタ
ビューから—
- ④-4 非法律婚カップルの語りから問う結婚
—聞き取り調査に基づくレトリック分析—
- ④-5 結婚の動機と生活の見通しの提示
—妊娠先行型結婚の妻へのインタビューから—

司会 吉田 崇 (静岡大学)

中村真理子 (明治大学・院)

不破麻紀子 (首都大学東京)

柳下 実 (首都大学東京・院)

府中明子 (千葉大学・院)

阪井裕一郎 (早稲田大学, 日本学術振興会)

永田夏来 (兵庫教育大学)

⑤家族と社会政策 (5303)

- ⑤-1 ケア・ダイヤモンドからケア・イヤリングへ
—中国のケア・レジームを分析するための試論—
- ⑤-2 「成年後見の社会化」はなぜ起きたのか
- ⑤-3 東日本大震災の住宅再建／災害公営住宅・入居から
みる現代家族と地域社会
- ⑤-4 誰が意見を変えているのか?
—政策課題についての意見の変化に関する
パネルデータ分析—
- ⑤-5 受刑者を対象にした共感教育 (易地思之教育)
プログラムの効果に関する研究

司会 杉井潤子 (京都教育大学)

張 継元 (東京大学・院)

税所真也 (東京大学・院)

山地久美子 (大阪府立大学)

水落正明 (南山大学)

朴 順龍 (同志社大学・院)

テーマセッション (1) 企画全体提案型

NFRJ18に向けて (5301)

- (1)-1 時系列調査としてのNFRJ18
- (1)-2 NFRJにおける回顧調査の可能性
- (1)-3 NFRJ18におけるオーバーサンプリングの可能性
- (1)-4 社会調査における世帯と家族
- (1)-5 NFRJと質的研究

オーガナイザー 永井暁子 (日本女子大学)

司会 田淵六郎 (上智大学)

永井暁子 (日本女子大学)

保田時男 (関西大学)

余田翔平 (国立社会保障・人口問題研究所)

久保田裕之 (日本大学)

木戸 功 (札幌学院大学)

会長講演 (5201)

16:15～16:40

総会 (5201)

16:50～17:50

懇親会 (食堂棟2F・LIBRE)

18:10～19:40

第2日 9月6日(日)

受付開始(5号館3階ホール)

8:45～

午前の部1

9:15～10:45

自由報告(3)

⑥家族意識(5302)

- ⑥-1 <近居>に関する意識の変化
—「国民生活に関する世論調査」の分析から—
- ⑥-2 子供の性別と離婚に対する賛否との関係
- ⑥-3 墓の承継についての意識の変化
—JGSS-2000/2001/2010/2015の回答を基に—

司会 福田亘孝(青山学院大学)
松川尚子(関西学院大学・院)

犬飼直彦(早稲田大学・院)
岩井紀子(大阪商業大学)

⑦育児とストレス(5303)

- ⑦-1 「育児不安」概念の再検討
- ⑦-2 自閉症スペクトラム障害者の母親と祖父母の関係
にみる母親の責任性
- ⑦-3 なぜ精神障がいをもつ子へのケアを引き受けるのか?
—親のケア行為とその動機の日仏比較—

司会 南山浩二(成城大学)
阿部里美(日本大学)
堀 兼大朗(中京大学・院)

樋口麻里(大阪大学)

⑧ひとり親家族とステップファミリー(5304)

- ⑧-1 定位家族構造と成人期の初婚行動
—初婚タイミングと配偶者選択による検討—
- ⑧-2 シングルマザーのワーク・ファミリー・コンフリクト—脱標準的な労働と貧困状態—
- ⑧-3 ステップファミリーの親子関係

司会 湯澤直美(立教大学)
斉藤知洋(東京大学・院)
余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)
末盛 慶(日本福祉大学)
大日義晴(日本女子大学)

午前の部2

11:00～13:00

自由報告(4)

⑨ライフコースと親子関係(5302)

- ⑨-1 現代日本における若者の人生設計
—大学生の語りを事例に—
- ⑨-2 韓国の未婚成人子の親同居
- ⑨-3 中年期未婚女性の経済不安
- ⑨-4 若者の親への共感を促すプログラム作成の試み

司会 春日井典子(甲南大学)
パヴラシェヴィッチ・ボヤナ(神戸大学・院)

新藤麻里(東京大学・院)
大風 薫(お茶の水女子大学・院)
大島聖美(広島国際大学)

⑩出産と育児(5303)

- ⑩-1 公務員女性の就業継続と出生力
- ⑩-2 保育サービスの獲得をめぐる共働き世帯の調整と葛藤
- ⑩-3 未就学児をもつ父親の育児支援者へのコミットメント
- ⑩-4 LGBTの子育て

司会 西村純子(明星大学)
新谷由里子(東洋大学)
尾曲美香(お茶の水女子大学・院)
加藤邦子(川口短期大学)
三部倫子(首都大学東京, 日本学術振興会)

【報告キャンセル】⑩-1 公務員女性の就業継続と出生力

⑪家族・親族システムの地域性 (5304)

- ⑪-1 近世東北の結婚・再婚と世帯継承
—在郷町郡山と周辺農村の比較分析—
- ⑪-2 現代日本の親族関係
—刈谷市質問紙調査の分析を中心に—
- ⑪-3 現代の育児の「しんどさ」はどこにあるか？
—刈谷市質問紙調査の育児ストレスに関する
分析を中心に—
- ⑪-4 「日本文化の地域性」再考
—忘れられたデータの分析—

司会 奥井亜紗子 (京都女子大学)

黒須里美 (麗澤大学)
高橋美由紀 (立正大学)
平井晶子 (神戸大学)

山根真理 (愛知教育大学)

加藤彰彦 (明治大学)

テーマセッション (2) 報告者公募型

Contemporary Family Research (5301)

Organizer & Chair

Takayuki Sasaki (Osaka University of Commerce)

- (2)-1 Variety of Attitudes Toward Filial Obligation and Their
Changes : Comparative Studies Using EASS and
CAFS Survey Data
- (2)-2 The Multiple Dimensions of the Attitudes Towards
Family in East Asia : An International Compar-
ative Study Based on ISSP2012
- (2)-3 Isolation of Single Fathers and Their Networks
- (2)-4 What Will We Witness When We Seriously Try to
Boost Fertility? : Normative Constraints Against
Universal Child Benefits

Heiwa Date (Japan Society for Promotion of Science,
Kyoto University)

Kota Toma (National Institute of Population and
Social Security Research)

Hirohisa Takenoshita (Sophia University)

Yoshimi Iwashita (Temple University)

Sigeto Tanaka (Tohoku University)

打ち合わせ会場 (5301)

昼食・委員会

13:00 ~ 14:00

午後の部

14:00 ~ 16:45

大会シンポジウム (5201)

人口減少社会における家族と地域のゆくえ

司会 松田茂樹 (中京大学)
大和礼子 (関西大学)

日本の人口転換と地域社会の未来
地域ブロック内における出生率の違い
—富山と福井の比較から—
人口減少時代の地域づくりと自治体行財政の課題

原 俊彦 (札幌市立大学)
中村真由美 (富山大学)

沼尾波子 (日本大学)

討論者 廣嶋清志 (島根大学名誉教授)

連絡事項

1. 参加登録及び参加費等の事前納付

● 大会参加登録について

大会参加を希望される会員は、出来る限り、事前に参加登録と参加費等の納付を済ませてください。

Web が利用できる環境の方は、日本家族社会学会第 25 回大会ホームページ（日本家族社会学会ホームページより入る）から登録できます。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字 8 桁；上 4 桁は数字の 0、下 4 桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

Web が利用できない環境の方は、同封されている登録票を用いて、ファックスまたは郵送で登録をお願いします。送信・郵送先は、日本家族社会学会大会ヘルプデスク（Fax: 03-5227-8632、〒162-0801 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター）です。

● 大会参加費・懇親会費・お弁当代の事前納付について

事前納付は、同封されている郵便振替票（00110-7-512376、加入者名・日本家族社会学会大会）を用いての振込、あるいは、オンラインでの参加登録の際にカードでお支払いください。オンラインで参加登録されるときに、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時にできます。

なお、参加登録を当日行い、その場で支払うこともできますが、当日の受付業務の軽減のためにも、事前の参加登録と参加費等の納付をお願いします。事前登録された方には、ネームカードを用意します。事前に納付される方は、以下の通り、参加費等が割引となります。事前に登録されても、期限までに納付されない場合は、当日払いの費用になりますので、ご注意ください。

＜＜郵便振込みの場合＞＞ ＊手数料は本人負担となります（以下は手数料抜きの値段）。

郵便振替口座番号：00110-7-512376 加入者名：日本家族社会学会大会

一般：大会参加費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円） ＊要旨集代含む

懇親会費（事前納付 4,000 円、当日払い 5,000 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円） ＊要旨集代含む

懇親会費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）

＊一般・学生ともに、一日目、二日目の弁当代（お茶付）は各 1,000 円です。

（弁当の予約は事前納付の場合のみ可能）

＜＜カード払いの場合＞＞ ＊手数料は本人負担となります（以下は手数料込の値段）。

一般：大会参加費（事前納付 3,675 円） ＊要旨集代含む

懇親会費（事前納付 4,200 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,625 円） ＊要旨集代含む

懇親会費（事前納付 2,625 円）

＊一般・学生ともに、一日目、二日目の弁当代（お茶付）は各 1,050 円です。

（弁当の予約は事前納付の場合のみ可能）

2. 事前登録・事前納付の期限

- 大会参加の事前登録と参加費等の事前納付の期限は、次の通りです。

	参加登録期限	参加費等事前納付期限
①Web による参加登録 +郵便振替による納付	8 月 17 日(月)	8 月 17 日(月)
②登録票送付(fax もしくは郵送) +郵便振替による納付	8 月 14 日(金) 大会ヘルプデスク必着	8 月 17 日(月)
③Web による参加登録 +カード支払い	8 月 19 日(水) 24 時まで	8 月 19 日(水) 24 時まで

- ①の場合は、Web 上の参加登録及び郵便振替による参加費等の納付とともに締切は 8 月 17 日(月)です。
- ②の場合は、郵便振替による参加費等納付の期限は①と同じく 8 月 17 日(月)ですが、登録票の郵送もしくはファックス送信の期限は 8 月 14 日(金)です。お間違えのないようにお願いします。
- ③の場合は、Web 上で参加登録と参加費等の納付を同時に行うことになります。その期限は 8 月 19 日(水)24 時です。
- いずれの方法を採られる場合も、上記の期限は厳守してください。とくに期限を過ぎた参加費等の納付は「事前納付」とはみなさず、大会受付で、当日料金との差額をいただきます。
- いずれの方法を採られる場合も、参加費等を事前納付された後は、万一、大会にご出席できなくなっても、参加費等の払い戻しはできません。報告要旨集は後日郵送いたします。
- 常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は 2015 年 5 月 31 日に終了しています。現段階で承認を受けている方が学生会員と同じ料金設定になります。
- 非会員で参加をご希望の方は、参加費等の事前納付の対象にはなりませんので、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般 4,500 円、学生 3,000 円、懇親会費は一般 5,000 円、学生 3,000 円です。
- 大会の参加受付は、第 1 日目 (9 月 5 日) は午前 9 時 15 分、第 2 日目 (9 月 6 日) は午前 8 時 45 分からです。

3. その他の注意事項

- 報告要旨集**
大会当日受付でお渡しいたします。また、9 月 2 日 (水) には大会ホームページ上で公開いたしますので、事前にご覧になりたい方はアクセスしてください。
- 懇親会**
大会第 1 日目 (9 月 5 日) 午後 6 時 10 分より、大学食堂にて懇親会を開催いたします。多くの会員と交流する絶好のチャンスです。ご参加いただければ幸いです。なお、懇親会費につきましても、ご欠席の場合の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。
- 昼食について**
事前の参加手続きの際に、お弁当のご予約を承ります。お弁当を希望される方は、大会参加費とともに事前納付をお願いします。大会当日のお弁当のご注文はお受けできませんのでご注意ください。なお、学内ではファミリーマートが営業しているほか、徒歩 10 分圏内に少数ですが飲食店、コンビニ、スーパー等があります。
- 宿泊について**
開催校のほうで情報提供はいたしませんので、各自お手配ください。

4. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告の報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分です。報告者と司会者は、セッション開始 10 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかににかかわらず、この時間に集合し、配布資料を会場系の学生にお渡しください。
- 大会当日の配布資料について**
自由報告は 50 部、テーマセッション報告は 100 部を各自でご用意ください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。

- **自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い**

参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。

- **PowerPoint 等の使用に関する注意事項**

- a. 報告会場となるすべての教室では、教卓にデスクトップ型パソコン（Windows 8.1, Microsoft Office 2013）が備え付けられています。
- b. Microsoft-Power Point 2013 の pptx もしくは ppt 形式、あるいは PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
- c. 機器を使用する報告者は、部会開始 15 分前に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
- d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
- e. どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用なさりたい場合、開催校では RGB ケーブルおよびステレオミニケーブルのみご用意しています。HDMI・Displayport での接続も可能ですが、必要なケーブルやアダプタはご自身でご持参ください。また当日は接続に多少の時間がかかることを見込んで準備をお願いします。
- f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

5. 大会期間中の託児室の設置について

- 大会期間中、追手門学院大学内に託児室（有料）を設置します。ただし、利用は事前に申し込みをされた方に限ります。利用をご希望の方は、日本家族社会学会大会ホームページをご覧ください。利用要領をご了解のうえ、8月17日（月）17:00までに大会実行委員会へメールにてお申し込みください。お問合せも下記アドレスまでお願いいたします。

申し込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@bunken.co.jp

6. その他

- 例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーを開設いたします。申込・問い合わせは大会実行委員会事務局宛にメールにてご連絡ください。
- 例年同様、抜き刷り交換コーナーを設けます。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ（<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2015/index.html>）にも同様の内容を掲載しています。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：追手門学院大学社会学部 蘭由岐子研究室

住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2 丁目 1 番 15 号

メールアドレス：jsfs-taikai@bunken.co.jp

大会本部（大会当日）：5 号館 7 階中会議室

【会場へのアクセス】

公共交通機関をご利用の方は、阪急バス、もしくはスクールバスをご利用ください。いずれも JR 茨木駅、または阪急茨木市駅の発着となります。

※バスによる所要時間は通常 20～30 分ですが、交通状況によって大きく変動します。

※ターミナル駅や空港から、JR 茨木駅・阪急茨木市駅までのアクセス・所要時間は、大学ホームページにてご確認ください。<http://www.otemon.ac.jp/guide/campus/access/>

なお、マイカーをご利用の方は本学駐車場をご利用になれます（詳細後述）。

■ JR 茨木駅から「阪急バス」・「スクールバス」を利用される場合（所要時間 20～30 分）

- ・スクールバスは1日目5日（土）のみの運行です。2日目6日（日）は阪急バスをご利用ください。
- ・阪急バスは、下記の各路線にご乗車ください。終点が「追手門学院前」となる[82]系統がもっとも便利です。それ以外の系統にご乗車の場合は、下表に従って停留所「福井」または「安威南口」にて下車ください。本学までは、それぞれの停留所から徒歩10分程度となります。
- ・「福井」「安威南口」停留所から大会会場までの道順の詳細は、大会ホームページに掲載しています。

＜JR 茨木駅発 阪急バス（土・日共通）・スクールバス（土のみ）時刻表＞

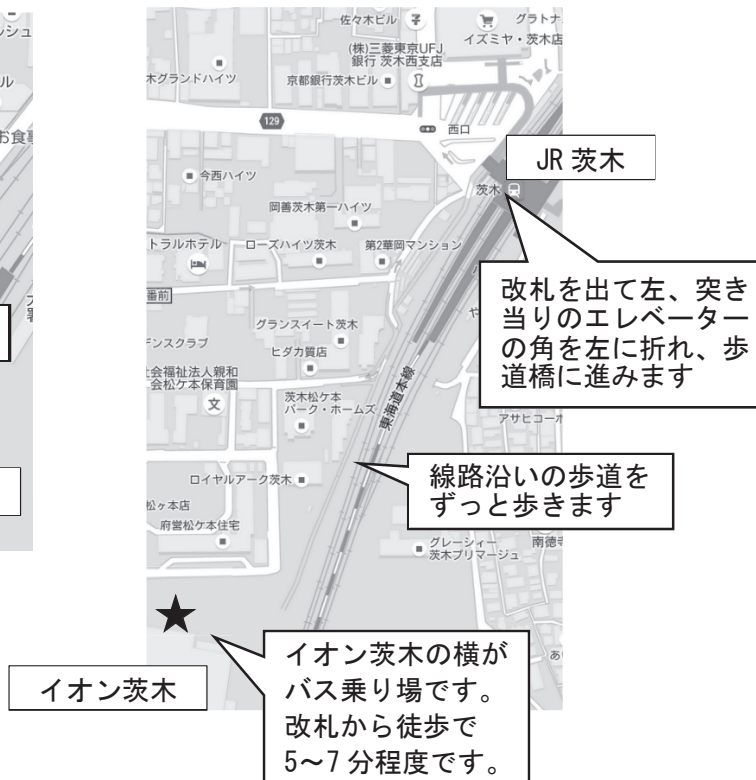
系統	スクールバス	阪急バス					
		[82]	[86][87]	[80][83]	[81][181]	[85]	[77]
行先		追手門学院前	茨木サニータウン	茨木サニータウン	余野	栗生団地	山手台七丁目
乗り場	★	③	①（後）	③	①（後）	①（後）	⑤番
下車停留所	大学	追手門学院前	福井	福井	福井	福井	安威南口
8 時台	35	05 38 58	03 15 31 45		50		22
9 時台	10～20	27 59	00 15 30	50		21	02 32
10 時台	※5 日のみ	59	09 45	25	01		47
11 時台	運行です。	59	05 45	25	01	54	27
12 時台		59	05 45	25			47

※スクールバスの 8:35 は職員便、9:10～20（随時発車）は入試便となり、大会参加者以外も乗車します。

＜阪急バス」乗り場（①・③・⑤）案内＞



＜スクールバス乗り場（★）案内＞



■ 阪急茨木市駅から「阪急バス」・「スクールバス」を利用される場合（所要時間 20～30 分）

- ・スクールバスは1日目5日（土）のみの運行です。2日目6日（日）は阪急バスをご利用ください。
- ・阪急バスは、下記の各路線にご乗車ください。終点が「追手門学院前」となる[82]系統がもっとも便利です。それ以外の系統にご乗車の場合は、下表に従って停留所「福井」または「安威南口」にて下車ください。本学までは、それぞれの停留所から徒歩10分程度となります。
- ・「福井」「安威南口」停留所から大会会場までの道順の詳細は、大会ホームページに掲載しています。

＜阪急茨木市駅発 阪急バス（土・日共通）・スクールバス（土のみ）時刻表＞

系統	スクールバス	阪急バス					
		[82]	[83][86][87]	[81][181]	[85]	[77]	[89]
行先		追手門学院前	茨木サニータウン	余野	栗生団地	山手台七丁目	車作
乗り場	★	①ー2番	①ー2番	①ー2番	①ー2番	①ー3番	①ー3番
下車停留所	大学	追手門学院前	福井	福井	福井	安威南口	安威南口
8 時台	35	28 48	21	40		00 30	50
9 時台	10～20	18		52	12	10 40	
10 時台	※5 日のみ	50	00 36	52		20 55	05
11 時台	運行です		16 56		45	35	
12 時台		50	36	52		15 55	

※スクールバスの 8:35 は職員便、9:10～20（随時発車）は入試便となり、大会参加者以外も乗車します。

＜ 阪急バス乗り場(①)・スクールバス乗り場(★)案内＞



■ 「マイカー」を利用される場合

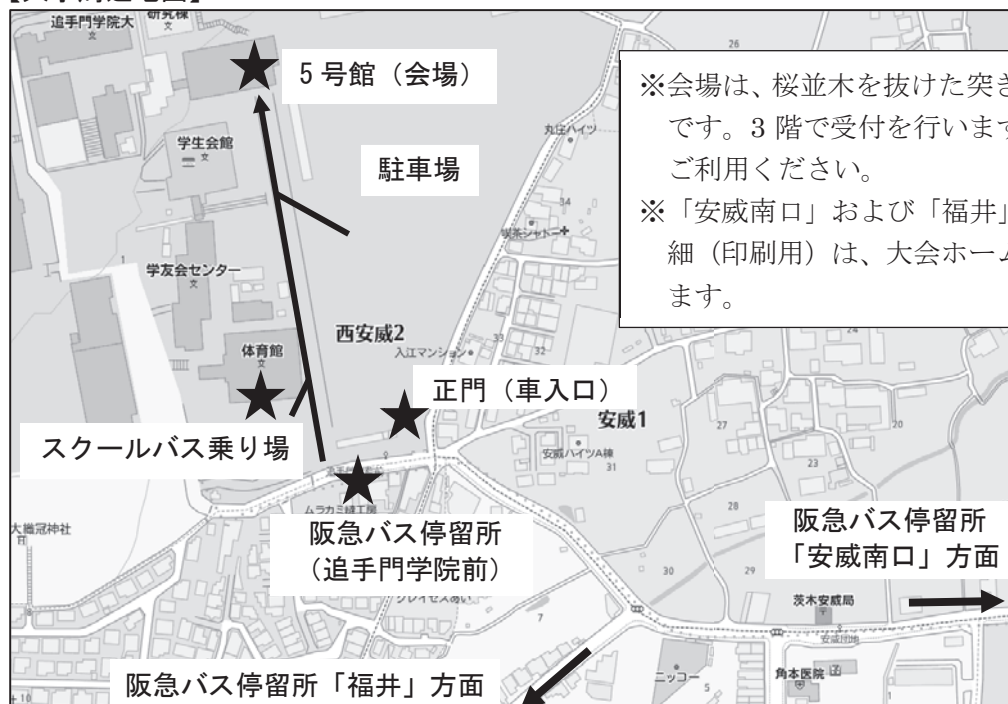
【駐車場】本学駐車場をご利用になれます（無料）。

【ルート】ご利用のナビゲーションシステムによっては、府道 110 号線を経由してキャンパス北側からアクセスするよう指示される場合がありますが、北側からアクセスできる道はありません。ご注意ください。国道 171 号線から府道 46 号線を経由し、「茨木安威郵便局」（大阪府茨木市安威 1-22-5）前を通過するルートでお越しください。道順の詳細は、大会ホームページに掲載しています。

■ 「タクシー」を利用される場合

JR 茨木駅、阪急茨木市駅いずれからでも、1500 円～2000 円程度です（所要時間 通常 20 分程度）。正門から駐車場に入ってすぐ右手にタクシー用の降車スペースがあります。

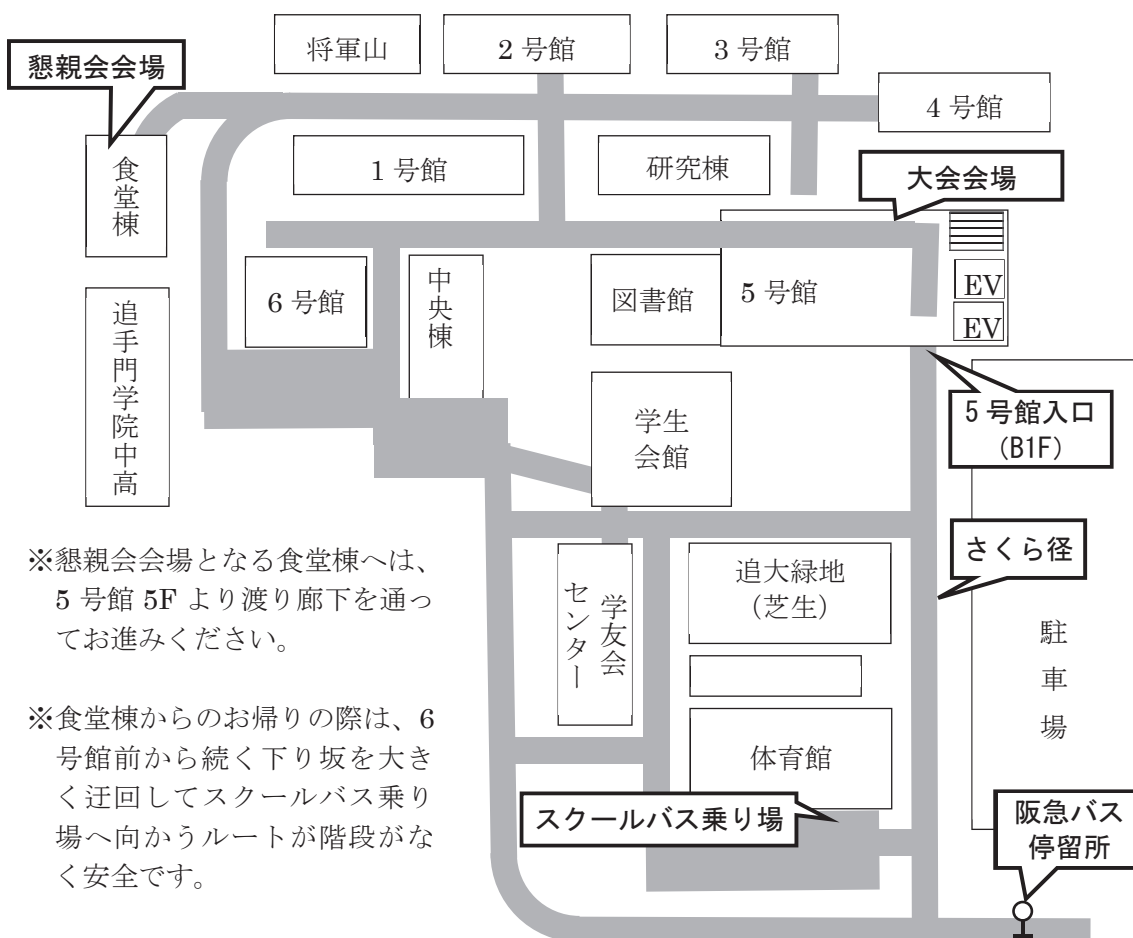
【大学周辺地図】



※会場は、桜並木を抜けた突き当たりの建物（5号館）です。3階で受付を行いますので、エレベーターをご利用ください。

※「安威南口」および「福井」停留所からの道順の詳細（印刷用）は、大会ホームページでご利用になれます。

【大会会場 建物配置図】



※懇親会会場となる食堂棟へは、5号館 5F より渡り廊下を通ってお進みください。

※食堂棟からのお帰りの際は、6号館前から続く下り坂を大きく迂回してスクールバス乗り場へ向かうルートが階段がなく安全です。

【大会実行委員】

実行委員長：蘭由岐子（追手門学院大学）

実行委員：岩渕亜希子（追手門学院大学）、高橋美恵子（大阪大学）、菊地真理（大阪産業大学）、中島満大（学術振興会・神戸大学）